

第3次湖西市多文化共生推進プラン（2021～2025）について

第3次プラン策定の目的・経過・背景

①第2次プラン（2016～2020）の評価

5年間の取り組み結果の評価

⇒ 拡充や継続する取り組み、課題を第3次プランに入れる

②アンケートの実施

外国人市民対象調査

・ 市内在住の18歳以上の外国籍市民1,000人に調査。回答は302人。

⇒ コミュニケーション支援、日本語学習、交流したい…etc.

日本人市民対象調査

・ 市内在住の18歳以上の日本国籍市民1,500人に調査。回答は670人。

⇒ 多文化共生の認知度は上昇、ルールや習慣の理解・日本語の習得が必要、地域での対策にはやや消極的、若い世代では交流に意欲

③外国人人口の状況

・ 外国人人口は増えている

・ ブラジル人、ベトナム人、インドネシア人が特に増えている

・ 永住者と、定住者と、技能実習生が増えている

・ ほぼすべての自治会に外国人住民が住んでいる

⇒ ポルトガル語、スペイン語以外の言語での情報提供やコミュニケーション支援の充実

⇒ 永住化、定住化への対応（安定した労働環境、子どもの教育環境、高齢者福祉）

⇒ 地域の日本人市民側への働きかけ、交流の接点を増やす

④国の施策、社会の変化

・ 在留資格「特定技能」⇒ 技能実習生受入事業の支援継続

・ 外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策

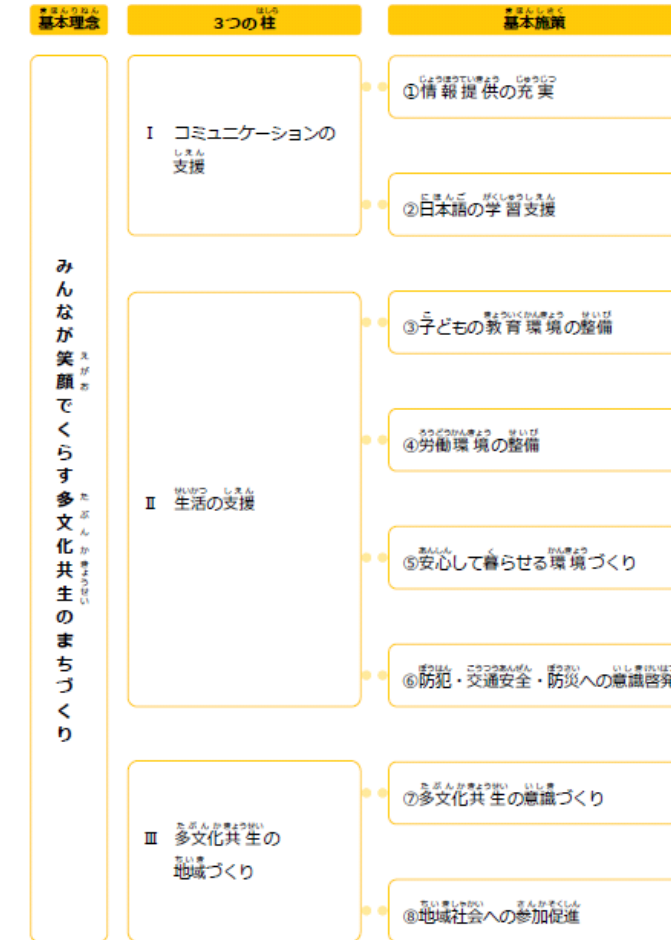
・ デジタル化（AI翻訳、ビデオ通訳）⇒ 活用を研究

・ 自然災害が増加 ⇒ 災害時の外国人対応明確化、自主防災組織への働きかけ

・ 新型コロナウイルス ⇒ 医療・保健・福祉についての情報提供充実

第3次プランでの取組内容・・・プランの21ページ～37ページ

4 施策の体系



プランの進め方、点検と情報公開

(1) 市役所内

毎年度、取り組み結果を報告、評価し、目標を更新しながら施策に取り組みます。

(2) 連携と協力

市民、湖西国際交流協会、事業者、各種団体、他の自治体等と共に進めていきます。

(3) 点検と情報公開

湖西市多文化共生社会推進協議会へ、毎年度取り組み結果を報告します。評価・点検していただき、その結果についてウェブサイトなどを通じて情報公開をしていきます。